

文芸小くらがわ

俳句

【大和俳句会】

春の山生命漲る大地なり 岩瀬 のぶ子

鶯の声に補聴器かけなおす 安達 幸子

九十の坂も越えにし花見かな 代田 とし

友逝きしおもひで多い桜かな 鈴木 登美子

短歌

【花の室 木崎集】

輪郭を思ひ出さんと夢うつつもがき喘いで
あなたを探す 塚田 沙玲

屋根の下に共に暮らせし息とは言えへその緒
断てば別の人間 石浜 今日子

こめかみをツツツと汗が伝い落ちごくりのど
鳴り麦秋来る 大久保 まさ子

ひらひらと忘れず今年も帰ってくるつばめの
習性いとほしくもあり 高昌

ホーホーと木菟啼くこゑに偲ばるるわが嫁ぎ
来しはつ夏の日 塩谷 明子

鎌を持つ力ありけり早朝の畑に出てて葱を
植え来し 鈴木 とみ

空高くほんわり浮ぶ羊雲ふるさとに住む妹
想う 塚本 幸子

〈赤富士〉とう羊羹一切味わいて若緑の泡お
うすいたたく 西岡 和子

歩いて走つても青田もりあがる山裾の村に
ひとつたつ家 野村 幸男

赤つつじ斜面いっばい咲きほこり二階の窓か
らシャッターをきる 山田 洋子

「ばあちゃん見てみてきれいだよ」幼かけく
る玉虫もちて 奥田 豊子

〈テラシネ〉の意味調べる春の宵われもたし
かな根なし草なり 間々田 久子

紺色と淡き水色の羽をつけ切手の中の蝶はと
びたつ 田村 敦子

針しごと月命日の夫と居るたばこぶかぶか
〈笑点〉にやり 田村 ひろみ

【岩瀬秋歌会】

存在の証のごとく揺れはじめミモザの花は春
を装ふ 大関 節子

かたかごの花の盛りを越ゆらんか友と連れ立
ち行きし林に 安達 すみ子

咲き満つる桜の下に憩ふとき西行の歌思ひ
おこせり 安達 悦子

水張田は陽を浴みさざ波キラキラと鴨の番は
悠然として 坪井 ゆき子

薫風にゆうゆう泳ぐその姿真鯉緋鯉のいさま
しさみゆ 長谷川 玲子

春の日に鳥はさへづり小きき花の赤青紫と
野辺の彩どり 石川 喜代

俚謡

【さくら俚謡会】

季節巡れば花々咲いて付いて来るのが花粉症
みな の川 遊

八十路思い出知る友ありて時は流され花菖蒲
岩瀬 絵都女

生姜の下ろしに鯉が跳ねて路地の奥まで初夏
になる いなばない

俺は嫌でもイネには欲しい梅雨は恵みの力水
田 哲人

【お詫びと訂正】

本紙前号 (No. 255) の中に誤りがありました
した。お詫びして訂正(野線箇所)いたします。

【岩瀬短歌会】
寒の陽をうけて潤ひし土匂う山の墾田の霜つ
よき朝 小林 美瑛子



○粗大ゴミ収集運搬業務
○事業系ごみ収集運搬業務
○一般廃棄物収集運搬業務

明野資源リサイクル(株)

本社 〒300-4513 筑西市中根94 ☎0296-52-2337

真壁支店 〒300-4421 桜川市真壁町原方191-4 ☎0296-23-9230

あなたの側で、
誠実に、忠実に。

igital
Digital Print Co., Ltd.

株式会社 デジタル印刷
TEL 0296-54-2626 (代)
FAX 0296-54-2724

www.digital-54-2626.com